

# 武蔵野大学インターンシップを受け入れました ～大学連携事業～

教育委員会では、大学連携事業の一環として、7月10日（火）から1カ月間、武蔵野大学インターンシップの受け入れを行いました。今回、インターンシップ生には様々な取組に参加してもらい、大学生の視点から感じたことを「学生レポート」として作成してもらいました。

インターンシップの受け入れにより、新しい視点から教育委員会の事業を捉え直すことができました。今後も教育の充実のために様々な事業に取り組んでいきます。

◆教育企画課 042-438-4070

## 教員（初任者）宿泊研修

8月2日（木）に山梨県北杜市須玉町にて教員（初任者）宿泊研修が行われました。

この研修は、今年度採用され、市立学校に配属された教員が参加し、授業の進め方の研究などに取り組むものです。

友好都市である北杜市から宿泊施設や研修会場を貸していただき、実施しました。

### 学生レポート

北杜市須玉町はとても自然豊かなところで、今回新任の先生たちが宿泊した増富温泉郷や瑞牆山など、たくさんの観光資源を持つ地域です。



みずがき湖

研修では、先生たちが協力して児童・生徒への授業方法について研究したり、北杜市の自然環境を活用した、遺跡の発掘や天体観測など実地体験をしたりしました。



先生たちが研究している様子

私が小学生や中学生の頃、先生たちが出張等でいないときに、何をしていたかというのは、考えたことがありませんでした。

学校で勉強するのは児童や生徒ですが、学校で教える側の先生たちも、子どもたちの知らないところで勉強していたことを知りました。見えないところで努力する先生たちに教わる子どもたちは幸せだろうと思うとともに、自分も幸せな教育環境で学んでいたのだと思いました。

## サマー子ども教室

サマー子ども教室は、子どもたちの社会性や協調性を育み、充実した夏休みを過ごすために児童青少年課が実施しているものです。これまでは定員を超過している学童クラブを対象に実施してきましたが、今年度保谷小学校では、校庭開放などを行っている学校施設開放運営協議会との共催で、一般児童（小学1～6年生）向けの実施日が3日間できました。

### 学生レポート

#### ○3Dネームプレート体験教室（8月1日）

8月1日（水）及び8日（水）の2日間、サマー子ども教室に参加しました。パソコンソフトにより自分だけのネームプレートの設計図を作り、3Dプリンターで形にするという、最先端の技術を体験しました。

子どもたちはその最先端の技術に興味津々の様子で、講師の指導のもと、自分なりのネームプレートを一生懸命に作っていました。



一生懸命に作る子どもたちの様子



3Dプリンター

#### ○野外クッキング体験教室（8月8日）

今回は空き缶でご飯を炊き、カレーライスを食べるという内容で、キャンプのように、新聞紙や薪を使ってご飯を炊く貴重な体験をしていました。

## 教育委員会会議

7月24日（火）に行われた教育委員会第7回定例会では、「特別の教科 道徳」で使用する教科書の採択、小学校及び小・中学校特別支援学級で来年度から使用する教科書の採択などについて、議論が行われました。



### 学生レポート

傍聴者の1人として会議に参加してみて分かったことは、子どもたちのことはもちろん、現場で子どもたちに教える先生たちのことも非常に大切にしているということでした。

教科書採択も最初は、子どもたちの授業の質が良くなるように考えているのだらうと思っていました。しかし、教える先生たちが、子どもたちにわかりやすく教えられる教科書はどれかという視点からも意見が交わされていたことに驚きました。

また、教育委員会会議の前には、教育委員と事務局による勉強会が開かれていました。放課後子供教室と学童クラブの現状について共通理解を図り、今後の課題を検討するなど、会議以外でも活動していることがわかりました。

教育委員会の仕事について知らないという方は多いと思います。この記事を通じて、会議の内容について少し興味を持っていただけたら幸いです。